



大蔵だより

- 発行日：平成25年3月5日
- 発行：大蔵地域自治協議会
広報委員会
- 住所：朝来市和田山町宮田186番地3
大蔵市民会館
TEL 079-672-5651(ファックス兼用)

森 はなの生涯をNHK朝ドラへの運動について

運動を始めて2年になろうとしています。この間、大阪放送局を三度訪問しお願いしております。本年は1月21日に訪問しましたが、毎回放送局長、副局長(2名)に対応して頂いています。この他にもあらゆる伝手を通じて、NHKにアタックしている処ですが、早速には決定に至りません。全国からたくさん企画が寄せられている中で、時代背景、既に放送したドラマと類似していないか、視聴率がとれるか等を勘案して決めるとの事です。長い年月がかかるがあきらめないで取り組んで下さいと言って頂きました。現在竹田城跡が脚光をあびていますが、この様な事も森 はなに目をむけてもらう上で効果があると思われれます。局長が最近二度竹田城跡に登られたとの事です。



2月に入り、姫路市長に「朝ドラの会」会長の西尾女史が面談され、色々アドバイスを頂いたとの連絡がありました。黒田官兵衛決定まで7年を要したそうです。森 はなの朝ドラ化の実現にむけての協力を約束頂き、現在朝来市長との間で会談の日程調整が進められています。

朝来市としての今後の取り組みは地域振興課が大蔵自治協と協議して進めていますが、まずは森 はな先生に関する資料を可能な限り収集し、それを基にプロの作家に物語に仕立てて貰いNHKに提出する事を考えており、予算措置等進めています。

NHK朝の連続テレビ小説採用のためには、多くのエピソードや逸話が必要です。森 はな先生と交流があった、または、森 はな先生を知っているという方、森 はな先生に関するどんな事でも自治協事務局迄お知らせ頂ければ幸いです。

◀ じろはったんの舞台となった法泉寺と若宮神社を訪れた 森 はな先生



生活安全部会

地区の安全のために

① 防災標語の募集

広く風水害や地震に対する防災意識の高揚を図ることを目的とし学校や家庭、職場などの防災意識の高揚に役立ち防災の大切さ、防災のポイントなどを簡潔に表現をした作品を募集しました。各地区の生活安全部会の役員で厳正に審査をし入賞者には豪華記念品を贈呈したいと思っております。

② 養父市及び朝来市消防広域化

消防の広域化は、平成25年3月末を目途におおむね人口30万人規模で実現することが求められています。養父市・朝来市では管轄区域の人口減少や多様な消防ニーズなど、社会環境の変化に的確に対応するため、消防力強化による市民サービスの向上・行財政運営の効率化及び基盤の強化を図ることを目的としています。

③ 緊急救命措置

ドクターヘリの運航が4月で3年になります。今まで間に合わなかった命も高い確率で救われるようになりました。ヘリポートのランデブーポイントは緊急患者を収容した救急車との合流地点です。大蔵は小学校です。119に通報すると消防署の判断でドクターヘリの出動要請をします。

AEDも大蔵では10箇所近く設置されています。使用可能時間は平日朝から夕方までですが山陽宇佐美では24時間使用可能のようです。しかしどの場所も使用できない場合がありますのであらかじめ確認を取って頂いた方がよろしいかと思ます。(文責 平岡 浩人)



▲ 運航3年となるドクターヘリ

久しぶりに大笑いしました

2月24日の日曜日、大蔵市民会館で恒例の「笑おう会」を開催いたしました。当日は、シベリヤ寒気団の張り出しにより、雪のチラつく寒い気候の中でも有り、参加者の出足が懸念されましたが、会場内ではおよそ60名の方々が、恒例の行事を堪能、マジックショーでは真田豊実さんのトランプを使っての軽快な話術と、鮮やかなカードさばきに酔いしれていました。

休憩を入れて、少し身体をほぐす体操を行った後、お楽しみDVDを上映、210インチのスクリーンに映し出された若き日の「やす・きよ」の漫才のテンポの良さに久しぶりに

大笑い、まさに日頃のストレス発散に繋がり皆さん満足でお帰りになりました。

大震災以降、最近の社会情勢を受けて、沈みがちな気分の転換が図れたと思う一日となりました。

(文責 松岡正博)



健康福祉部会



▲ 多くの参加で恒例の行事を堪能



▲ 真田豊実さんのマジックショー

交流と魅力づくり部会 「大蔵の民家と町並み見学会」について

大蔵のお宝調査の一環として「大蔵の民家と町並み見学会」を実施しております。

今回の指導は、高瀬区の西垣善夫氏にお願いしました。西垣氏は建築業を経営される傍ら兵庫県歴史文化遺産活用推進員として活躍しておられます。

第1回目は1月27日(日)に15名が参加し東谷、平野、土田区を見学しました。

東谷区では元は養蚕農家であった3階建住家や旧大蔵村長宅を、土田区ではタバコ乾燥小屋や格子戸が残された住家などを中心に細かく説明を受けました。

第2回目は2月10日(日)に17名が参加し高瀬、宮田、高田区を見学しました。

高瀬区では築100年近い元酒造住家の中を特別に見学、天井には現在では珍しい大きな梁が見え、その梁や柱の木材の使用方法や建て方について聴きました。

宮田区でも築100年近い大地主宅を庭から見学、歳月の経過をものともせず、建物が寸分の狂いもなく保たれているのには驚かされました。また、戸袋も宮大工が製作されたとのことで、それぞれ作りが違った細工が施されていました。

高田区では昭和29年建築の高田公民館を見学、館内は芝居舞台や映画設備もあり、外観も当時としてはモダンな建築物として話題になったであろうとのことでした。 (文責 山中 秋信)



▲「大蔵の民家と町並み見学会」

豆かちと黒豆パーティー

環境部会

3年生が体験学習の一環として取り組んできた黒豆の栽培も、天候不順であったため、いつもならとくに終わっている刈り取りと乾燥がなかなかできず、豆かちは年明けの1月16日によろしく行うことが出来ました。

乾燥が今ひとつだったため、今年は一つつ手でサヤを割って豆を取り出しました。一つの枝に沢山付いているので、最後まで根気よく丁寧に作業をしている子や、途中でむくのをやめて遊んでしまう子もいましたが、むいた豆を選別して集めてみると、粒もまらずでみんな喜びの表情で作業を終えました。

2月21日、収穫した黒豆を使い、世話をした環境部会員や、参観日に来ておられる父兄と一緒に恒例の黒豆パーティーを行いました。植え付けから収穫までの作業風景が映し出されたスクリーンを見ながら、“黒豆のきなこまぶし”と“黒豆入り蒸しパン”を頂き、どちらも初めて食べる食感にそれぞれの感想を交えながら、和気あいあいのうちにパーティーは終わりました。

今日作った“きなこまぶしや蒸しパン”を、家でも家族と一緒に作りながら親と子のふれあいの場にして欲しいものです。 (文責 雑賀 忠文)



▲一つつ手でサヤを割って豆を取り出しました。



◀恒例の黒豆パーティー
きなこまぶしや蒸しパン
を楽しみました。



大蔵地区内の各区の歴史や現況などを各区長さんが紹介するコーナーです。今回は岡 区を取り上げました。

静かな山村・・・岡

岡 区長 森下 恒夫

国道9号線沿いの法道寺から県道を南下すると、法道寺の奥で山が迫り、行き止まりの印象をうける。更に進むと、やがて美しい農地が広がり右の山裾に集落が細長く続く。大蔵のシンボルとして小学校の校歌にも歌われる大倉部山の山懐に抱かれた静かな村、岡区である。岡区には、52世帯、159人が暮らしている。高齢化は進んでいるものの、世帯数の減少は顕著には見られないが、我々の祖先が永年守って来た農地や山や村を今後いかに維持するか、今まさに問われている。

この静かで美しい村で暮らしたい方がいらっしゃれば大歓迎致します。



▲ 岡 区の風景

お知らせコーナー

じろはっ さんと歩く 竹田城跡の麓 和田山桜街道ウォーキング参加者募集

「天空の城」として注目を集めている竹田城跡の麓、JR竹田駅を出発し、朝来市を流れる円山川に沿って続く桜街道を歩くウォーキングイベントが開催されます。

- 日 時:4月14日(日) 雨天決行、荒天中止
- 集 合:JR播但線竹田駅 午前9時30分(解散は午後1時頃)
- コース:JR播但線竹田駅—円山川沿い桜街道—若宮神社—法泉寺—大蔵市民会館(解散)—JR山陰線養父駅 ※約12kmのコース
- 参加費:一人500円(保険料、記念品代)当日受付でお支払いください。
- 募集人数:先着200名(申し込みなしの当日参加は受け付けません)
- 申込方法:申込用紙に必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて(3月20日午後5時まで)



お申し込み・お問い合わせ先：朝来市 市民文化部 和田山地域振興課 TEL672-6137

大蔵まなび隊のサポート隊募集します!

大蔵まなび隊の活動をより有意義なものにしていくため、まなび隊の活動にご協力いただける方を募集します。活動内容の立案や、活動時のサポートなど是非お手伝いお願いします!

- ・大蔵まなび隊隊員/小学1年～6年生(希望者30名程度)
- ・活動期間/毎年5月より開講 年間20回開催 土曜日の午前中(月により回数は異なります)
- ・活動目的/地域の方々とのふれあうことで礼儀やマナーを学び、異学年との交流を楽しみ、心と体を鍛えることを目的としています。

サポートやお手伝いいただける方は、下記までお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先
大蔵地域自治協議会 TEL672-5651(担当 川見)

若杉おばあちゃんの「野草料理教室」

早春の野草を摘みながら自然の力(恵み)をいただく。

- 講 師:若杉友子(野草料理研究家、食養指導者)
- 日 時:4月7日(日)午前9時～午後3時
- 場 所:大蔵小学校 調理室(野草を摘み、地元の食材で料理、試食)
- 参加費:3,000円、定員50名(要予約)
- 持ち物:エプロン、三角布、ふきん、マイカップ、マイ皿、マイ箸、筆記用具など

併せてお茶会7日15時30分から大蔵公民館で開催いたします。(参加費無料)予約制、先着順となりますので、参加ご希望・お問い合わせ等は下記までご連絡下さい。

お申し込み・お問い合わせ先
大蔵地域自治協議会 TEL672-5651